

科目名	物理療法学実習			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年	後期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
物理療法機器を実際に用い、各種物理療法を実施するための準備、パラメータの設定から実際の治療にいたるまでの手順を学ぶ。また、実際の疾患を想定して適切な物理療法の選択、パラメータの設定などを学ぶ。								
〔授業全体の内容の概要〕								
物理療法学で学んだ基本的知識を実践するために、演習やグループディスカッションを中心とした授業を行う。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
①物理療法機器を安全に扱うことができる。 ②疾患に応じて、適切な物理療法の種類、パラメータの設定などを考えることができる。								
回数	講義内容							
1	オリエンテーション							
2	オリエンテーション							
3	ホットパック							
4	ホットパック							
5	パラフィン							
6	パラフィン							
7	赤外線							
8	赤外線							
9	マイクロウェーブ							
10	マイクロウェーブ							
11	レーザー・(紫外線)							
12	レーザー・(紫外線)							
13	アイスパック							
14	アイスパック							
15	過流浴・交代浴							
16	過流浴・交代浴							
17	超音波							
18	超音波							
19	TENS(FES)							
20	TENS(FES)							
21	干渉波							
22	干渉波							
23	牽引							
	定期筆記試験							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
物理療法学			松澤正			金原出版		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】								
筆記試験および、平常点(10回の筆記小テストの合格回数1回を1点とする)にて評価する。								